

2018年6月2日 (土)

# BIO Mimetics

バイオミメティクス市民セミナー

## 第78回 北海道とバイオミメティクスを考える その2 農業とバイオミメティクス



学問が広まるキッカケは、社会がその学問を必要とするからにはほかならない。理屈は無用、人間にとって関わりの深い学問ほど、発展する。

100年余り前の北海道では、食料生産に根ざした学問に、発展する必然性があった。

北大は、ヨーロッパで勃興した遺伝学／育種学を模倣する用意を手際よく整え、すぐに社会へ還元した。海路で外遊する時代、最初の成果は驚くほど早く出た。多彩な人材を輩出し、独自の遺伝学を築いてきた。

まさに、バイオミメティクスの先駆的な事例が100年前ここにあった。



# 北海道からはじまった 我が国の遺伝学、 必然性と模倣と独自性 貴島 祐治

北海道大学 大学院農学研究院

主催：北海道大学総合博物館  
共催：高分子学会北海道支部  
北海道大学 電子科学研究所  
特定非営利活動法人バイオミメティクス推進協議会  
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター  
北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp

会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」  
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分